

富山市

～上下水道局が発行する情報紙～

# 上下水道局だより

vol.3

2026年3月



春の松川

特集

## 水道事業会計・公共下水道事業会計 令和8年度当初予算案の紹介

◎4月1日からの上下水道局の組織の見直しについて

◎上下水道局からのお知らせ



# 当初予算案をお知らせします

2月20日に、富山市の令和8年度当初予算案が発表されました。  
上下水道局に関連する予算案について、水道事業、公共下水道事業に分けて概要を紹介します。

## 1 建設改良費の予算について紹介します

② 建設改良費とは…上下水道サービスを提供するために必要となる施設の更新や耐震化などの投資を行うための費用



水道事業会計 55億7,505万円

建設改良費

対前年度比

9億8,766万円増 (21.5%増)

### I 水道施設の更新・耐震化

35億2,745万円

対前年度比

3億5,947万円増 (11.3%増)

配水幹線の整備や、配水管網の整備、老朽水道管の整備、老朽基幹施設の改良などに取り組みます。

### II 防災拠点機能の向上

3億792万円

対前年度比

7,528万円増 (32.4%増)

防災拠点施設(避難所や救急指定医療機関など)に接続する管路の耐震化を推進します。

### III 水道水の安定供給

4億6,960万円

対前年度比

1,185万円増 (2.6%増)

中山間地における水源の水量不足や水質悪化に対応し、安全で質の高い水道水の安定供給を図ります。

### IV その他 (道路工事などに伴う管路の布設替え工事など)

12億7,006万円

対前年度比

5億4,105万円増 (74.2%増)



# 公共下水道事業会計 65億4,028万円

建設改良費

対前年度比

15億358万円増 (29.9%増)

I

## 公共下水道(汚水)の更新・耐震化

39億3,760万円

対前年度比

11億2,200万円増 (39.8%増)

管渠・処理場・ポンプ場の更新および耐震化に取り組みます。

II

## 公共下水道(雨水)の更新・耐震化

19億715万円

対前年度比

2億6,873万円増 (16.4%増)

雨水管渠・雨水ポンプ場の新設や更新・耐震化などを進め、浸水被害を抑えます。

III

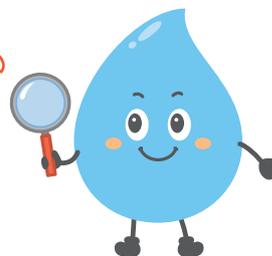
## その他 (道路工事などに伴う管路の布設替え工事など)

6億9,553万円

対前年度比

1億1,285万円増 (19.4%増)

かんきょ  
管渠って、汚水や雨水などを  
収集・排水するために  
作られた管や  
水路全体のことだよ。



令和8年4月からの料金改定の効果により

対前年度比で給水収益は約13億円、  
下水道収益は約12億9,000万円の増益を見込んでいます。

この増益分は、主に施設や管の更新・耐震化や、物価高騰による資材費・エネルギーコストなどの  
上昇分に充てるほか、将来の施設更新・耐震化のために内部留保します。



基幹管路(水道管)の更新・耐震化 下水道管の更新・耐震化(管更生)

# 「第2次富山市上下水道事業中長期ビジョン」に基づく主な事業の進捗状況は次のとおりです。

【計画期間：平成29年度（2017年）～令和8年度（2026年）の10年間】



## 水道事業

	計画前年度 平成28年度 (実績)	令和7年度末 (見込)	計画最終年度 令和8年度 (目標)
配水幹線の耐震化率	40.1%	79.4%	92.6%
全水道管路の耐震化率	40.1%	44.9%	45.5%
給水拠点整備達成率	25.4%	54.8%	55.4%

## 下水道事業

	計画前年度 平成28年度 (実績)	令和7年度末 (見込)	計画最終年度 令和8年度 (目標)
老朽管対策を実施した コンクリート管の割合	38.2%	95.1%	96.3%
大雨に対して安全である 地区の面積の割合	75.9%	78.4%	78.8%
水洗化率	95.1%	97.1%	96.4%

## 2 建設改良費以外の主な取り組みを紹介します

### ●富山市通水90周年を記念してシンポジウムを開催します

【日時】 10月9日(金) 13:30～16:00

【場所】 オーバード・ホール／中ホール

### ●市民ワークショップを開催します

上下水道の利用者(市民)とワークショップの活動を通して、双方向のコミュニケーションを行い、意見や提案などを今後の事業経営に反映させ、サービスの向上を図ります。

※令和8年度の参加者募集は終了しました。



# 令和8年4月から上下水道局の組織が一部変わります

## 課の新設

**危機対策課**  
(上下水道局本局)

## 課の再編

水道課  
下水道課

**上下水道計画課**  
**上下水道建設課**

## センターの統廃合

**東上下水道サービスセンター**  
(大沢野会館別館)

**西上下水道サービスセンター**  
(婦中行政サービスセンター別館)

**上下水道サービスセンター**  
(大沢野会館別館)

※4月以降も引き続き、婦中行政サービスセンター地域生活係で水道料金・下水道使用料は納付できます

**全国初!**

## 日本下水道事業団との 「水道施設災害支援協定」を締結しました

富山市と日本下水道事業団は、令和8年2月19日に災害時の水道施設の早期復旧に関する協定を締結しました。令和7年の法改正に伴い、日本下水道事業団が災害時に水道施設の復旧を担えるようになり、全国で初めての締結となりました。

能登半島地震の際に復旧が長期化した経験を踏まえ、対応の迅速化を図り水道サービスの早期回復を目指します。



令和8年2月19日 協定締結式

**対象となる災害** 暴風、落雷、豪雨、豪雪、地震、津波など

**対象となる施設** 182箇所

内訳(取水施設26箇所、導水施設2箇所、浄水施設17箇所、送配水施設54箇所、配水池83箇所)

**支援内容** 損傷状況の調査、災害に係る資料作成の補助、仮設ポンプ設置工事など

**市役所  
2階**

**お客さまサービスステーションをご利用ください**

お客さまサービスステーションでは、デザインマンホール展示やマンホールカード(あざみ)の配布のほか、水道の使用開始・中止の受付や名義変更の手続きができます。ぜひご利用ください。



**上下水道局独自のホームページを4月1日(予定)に開設します**

# 上下水道局職員を対象にした初めての 職員技術コンテストを開催しました

令和7年10月17日、流杉浄水場で応急給水作業の技術コンテストを開催しました。全体的な技術力や、職場や職種の壁を超えたチームワークの向上を目的とした、初の試みです。普段、給水作業に従事していない事務職を含む24人が、給水車の操作の正確性やスピードなどを競い、災害への対応力を高めました。



# 上下水道局主催の市民公開講座を 開催しました

とき 令和7年11月15日  
会場 富山国際会議場  
講師 浦上 拓也さん 近畿大学 経営学部 教授

テーマ 差し迫る、上下水道クライシス

本市の上下水道施設の老朽度や耐震化の現状、今後の施設の更新・耐震化の取り組み等について、市民の皆様にご理解を深めていただくため、令和7年11月15日、富山国際会議場で市民公開講座を開催しました。近畿大学経営学部の浦上拓也教授をお迎えし、上下水道インフラについて、経営的な視点からわかりやすくお話いただきました。約350人の方にお越しいただきました。



## 水道の使用開始・中止の連絡はお早めに

開始日または中止日が決まりましたら、3営業日前までに連絡してください。市ホームページで案内している専用サイトやLINEからも申し込みできます。LINEで友だち追加すると市の情報や「上下水道局だより」が配信されます。

☎上下水道局料金課開閉栓専用ダイヤル ☎0120-310-599  
【大沢野・大山・細入地域】 ☎東上下水道サービスセンター ☎076-467-5816  
【婦中・八尾・山田地域】 ☎西上下水道サービスセンター ☎076-465-2164 ※  
※4月1日以降は ☎076-467-5816へ

富山市  
LINE公式  
メニュー▶申請



## コラム②

### あれこれ話 上下水道

今年の冬の降雪量はほぼ平年並みではあったものの、強い寒波の影響で凍結による水道管の破裂や漏水への注意を市民の皆さんへお願いする日もあった。この時期、富山市内では消融雪用に水道水が利用されることもあって、有収水量が増えることは経営面にとってプラスだが、市民生活に影響が出るような大雪は勘弁願いたい。さて、降雪量が多い時期に特に心配になるのは、各家庭や事業所の屋外等に取り付けられたメーター（計量器）から、使用水量を

確認する検針業務への影響である。検針は水道料金（下水道使用料も同様）を徴収するためには欠かせない大切な業務であり、現在、委託先の85名の検針員が市内に19万7千か所余りある検針箇所を2か月ごとに巡回して対応している。水道メーターが雪に埋もれるなど、冬期間の検針業務には困難が付きまとう。昨年は熊に遭遇しないよう警戒が必要な時期もあった。上下水道事業を支える検針員の皆さんにこの紙面を借りて改めて感謝の意を表したい。